



木くずを飛ばしながら、危険個所の木を伐採する。辺りにチェーンソーの音が響く

高島 鈴沼から文殊山まで整備

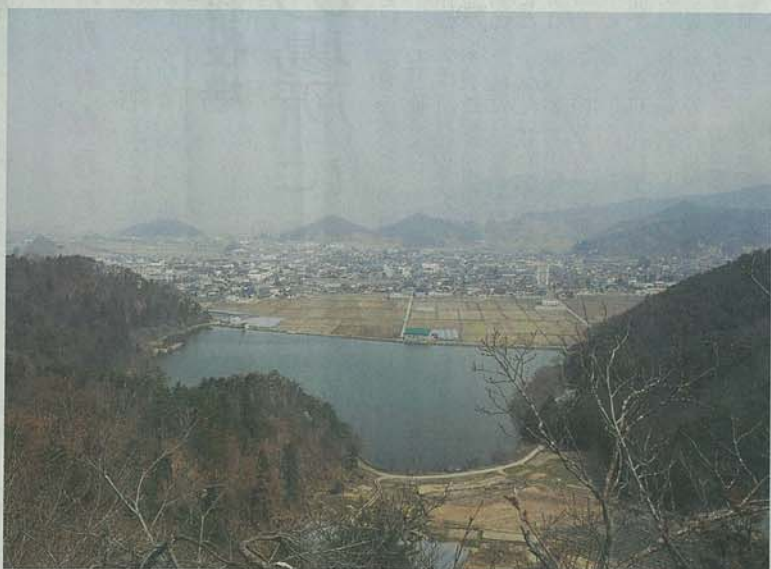
高島町の古道を自然に親しむ場として活用しよう。この日は同協会や町職員、町内の登山愛好者ら（近藤副理事長）が十二日に行った。同町の鈴沼から文殊山に抜ける登山コースの整備作業に同行した。

登山コース整備は同協会が二〇〇九年度、町民の健康増進や自然環境への理解、さらにはグリーンツーリズムの推進のために取り組む事業。同協会によると、鈴沼・文殊山コース（約八キロ）は、江戸期から主に亀岡文殊への参道や生活道として使われてきたが、太平洋戦争後からは五十年以上放置されたままになっているとい

（南陽支社・鈴木潤）



よみがえれ 登山道



この日はかすみがかかっていたが、天気がいいと置賜盆地がはっきりと見える。手前は鈴沼



文殊山の山頂に鎮座する羽山権現。現在も亀岡地区の住民と深いかわりをもつ



コース上には、はいくばって登りなければならぬ斜面もある

4月の週末、4月の週末、空が晴れて日さす。国語辞書、心も晴れ晴れしています。4じめ、野山のに開花します

写真

降り注ぐ街角や生徒、新華やいた声が、あさきさまたなシーンを送ってきた。今後は、6月季節、6月

シャッター



登山コースの途中ではヤマザクラが白いかれんな花を咲かせていた



大岩の上でひと休み。山の空気を胸いっぱい